



第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日時 令和2年7月31日（金）2校時

学級 5年2組 36名 教室

授業者 市川 希

1 研究主題

持続可能な社会を担う児童の課題解決力の育成
～地域の人、自然、社会とのつながりを通して～

2 目指す児童像

（1）日野第八小学校

「人・自然・社会とのつながりの中で自ら課題を見付け解決できる子」

（2）高学年分科会

「人・自然・社会とのつながりの中で自ら課題を見付け解決できる子」

3 単元名 「わたしたちの環境を守ろう」（全23時間）

4 単元の目標

- ・地球上で起きている環境問題から身近な環境問題まで関心をもって、その影響、原因、対策等を調べ、情報を関連付けたり、整理したり、分析したりすることを通して、よりよい環境をつくるために大切なことを理解することができる。
- ・環境問題を自分事として捉え、社会や地域の一員として対策を考え、取り組むことを通して、持続可能な社会の実現に向けて問題を解決していくことができる。

5 単元におけるE S Dの視点

持続可能な社会づくりの構成概念	E S Dの視点に立った学習指導で重視する能力・態度
II 相互性 ・環境問題は様々なことが関わり合っ て起きていることやいろいろなところ でその問題が関わり合っているこ とを理解すること V 連携性 ・環境問題を解決するために様々な 人々が協力・連携して取り組んでい ることを知り、自身でも社会や地域 の一員として協力・連携して行動し ていこうとする思いを抱くこと VI 責任性 ・多くの企業や団体が「つくる責任」 のもと、環境を守るための取組を行 っていることを知り、「つかう責任」 のもと自分たちにも環境を守るため に行動しなくてはいけない責任があ ることを自覚すること	1 批判的に考える力 ・環境問題の影響・原因・対策等について調べ、 様々な情報を整理・分析して、環境問題の本質 について理解し、その対策について思慮深く考 えることができる力 3 多面的・総合的に考える力 ・様々な人の立場から環境問題を見てみるこ とで、環境問題にはいろいろな面があることを理 解する力 ・環境問題の原因等のつながりを見付けること を通して環境問題の全体像を総合的に捉える力 4 コミュニケーションを行う力 ・グループの中で環境問題についての自分の考 えや思いを伝え、友達の考えも尊重し、積極的に コミュニケーションをとりながら、その解決方 法をまとめることができる力 7 進んで参加する態度 ・地域社会の一員としての責任を自覚し、環境問 題を解決するために、その方法を考えようとす る態度 ・グループの中で自分の役割を理解して主体的に 話し合いに参加する態度

6 評価規準

学習過程	評価規準		
	知識、技能【知】	思考力、判断力、表現力【思】	主体的に学習に取り組む態度【学】
課題設定	ア 世界の中に様々な環境問題があることを理解している。(相互性)	ア 思考ツール「ウェビングマップ」を用いて自分で課題を設定している。 イ 学習の見通しをもちながら自分なりに学習計画を立てている。 (多面的、総合的に考える力)	ア 自分で課題を設定し、探究活動に進んで取り組もうとしている。 (進んで参加する態度) イ 自分にできることかどうかが整理し、学習計画を立てようとしている。
情報収集	イ 環境問題について、手段を選択しながら情報を収集している。	ウ 自分で調べたことと関連させながら、企業の取組を聞き、理解している。	ウ 進んで調査活動に取り組んでいる。 (進んで参加する態度)
整理・分析	ウ 環境問題を解決するために、様々な機関が取り組んでいることを理解する。 (連携性)	エ 集めた情報を考えて整理しながらポスターにまとめる。 (多面的・総合的に考える力) オ 思考ツール「ステップチャート」を活用して、自分たちでできることを考えている。 (多面的・総合的に考える力)	エ 自分と違う意見や考えの良さを生かしながら、協働して学び合っている。 (コミュニケーションを行う力)
まとめ・表現	エ 環境問題の原因は人間の生活によるものだということ理解し、自分たちが解決していかななくてはならないことに気付いている。	カ 環境問題について、要点をまとめて分かりやすく表現している。	オ 調べたことを分かりやすく友達に伝える。友達の発表を聞いて、調べたこと以外の環境問題について考える。 (批判的に考える力) カ 友達の意見を取り入れながら、自分の考えをまとめている。 (コミュニケーションを行う力)
行動・検証		キ 自分たちの行動の効果や達成状況などから検証している。 (批判的に考える力)	キ 主体的に話し合いに参加し、問題の解決策を考えている。 (進んで参加する態度) ク 自分の課題を解決するために、進んで行動している。 (進んで参加する態度)

7 単元について

(1) 単元観

本単元では、SDGsの11～14の目標と関連させて、環境という側面から持続可能な社会の創造を目指す資質・能力の育成を目指していく。単元の導入では児童が環境問題を自分事として考えられるように現在起きている深刻な環境問題を、共通体験として提示する。そして単元を貫く大きな学習課題を設定できるようにする。その上で児童が身の回りの環境問題について想起し、自分の課題を設定して調べ活動をして、調べたことをクラスの中で発表するという活動を行う。互いに発表し、対話的な学習を展開する中で、新たな気づきや疑問が出てくることが予想される。さらに調べたことを整理・分析して、環境問題を解決していくために必要なことを明らかにしていく。そして調べ学習の第2段として、環境問題を解決するための様々な取組について調べていく。そこでは、日野市役所の方や企業の方などに協力していただきながら現在も様々な取組が行われていることを知ることができるようにする。そして最後の学習課題として自分にできることを考え実践していく。自分にできることを考え、実践していくことを通して、環境問題が自分たちの生活と関わっていて、行動することが世界や地域で起きている環境問題を解決するために大切なことであることを捉えさせていく。そして、行動したことについて発表し、検証しながらこれからの自身の生き方を考えることまでをこの単元のゴールとする。

(2) 教材観

地球温暖化をはじめとする環境問題は深刻な問題となっている。その深刻な問題を解決するために世界中で様々な取組が行われている。国連の定めたSDGsの17の目標と共に環境問題への取組が語られることも多い。そのような世界や日本国内の動きを児童も少なからず目にして知っていて、自分の生活も少しずつ影響を受けていることも感じている。ただ、まだまだ自分とは遠いところにある問題であり、なんとかしなければならぬという思いはもっていない。しかし、深刻さを増す環境問題は一人一人の意識が変わり、行動が変わることが大切である。児童にとってこの学習が意識や考えを変え、行動を始める一つの機会になってほしいと思っている。また、自分たちが未来の社会や地域を担う存在だということに改めて気づき、自身の生き方を考えてほしいと思っている。

8 SDGsとの関連

〔関連目標⑪〕 【住み続けられるまちづくりを】

- ・自分たちが地域を担う存在であることに気付かせ、よりよい地域社会を築くために自分たちにできることを考えさせるようにすることはターゲット 11.6につながっている。

〔関連目標⑫〕 【つくる責任 つかう責任】

- ・環境を守るために企業や自治体など様々なところで取組が行われていることを知り、改めて「つくる責任やつかう責任」について理解を深め、自分たちにできることを考えていくことはターゲット 12.8につながっている。

〔関連目標⑬〕 【気候変動に具体的な取組を】

- ・地球上で起きている気候変動について調べ、その影響・原因や取組について調べたことを整理・分析をして自分たちで具体的に行動することはターゲット 13.3につながっている。

〔関連目標⑭〕 【海の豊かさを守ろう】

- ・海洋プラスチックの問題など、海の豊かさを脅かす問題について、その影響や原因、有効な対策について調べることはターゲット 14.1 につながっている。

9 他教科との関連

E S D カレンダー参照

10 児童の実態

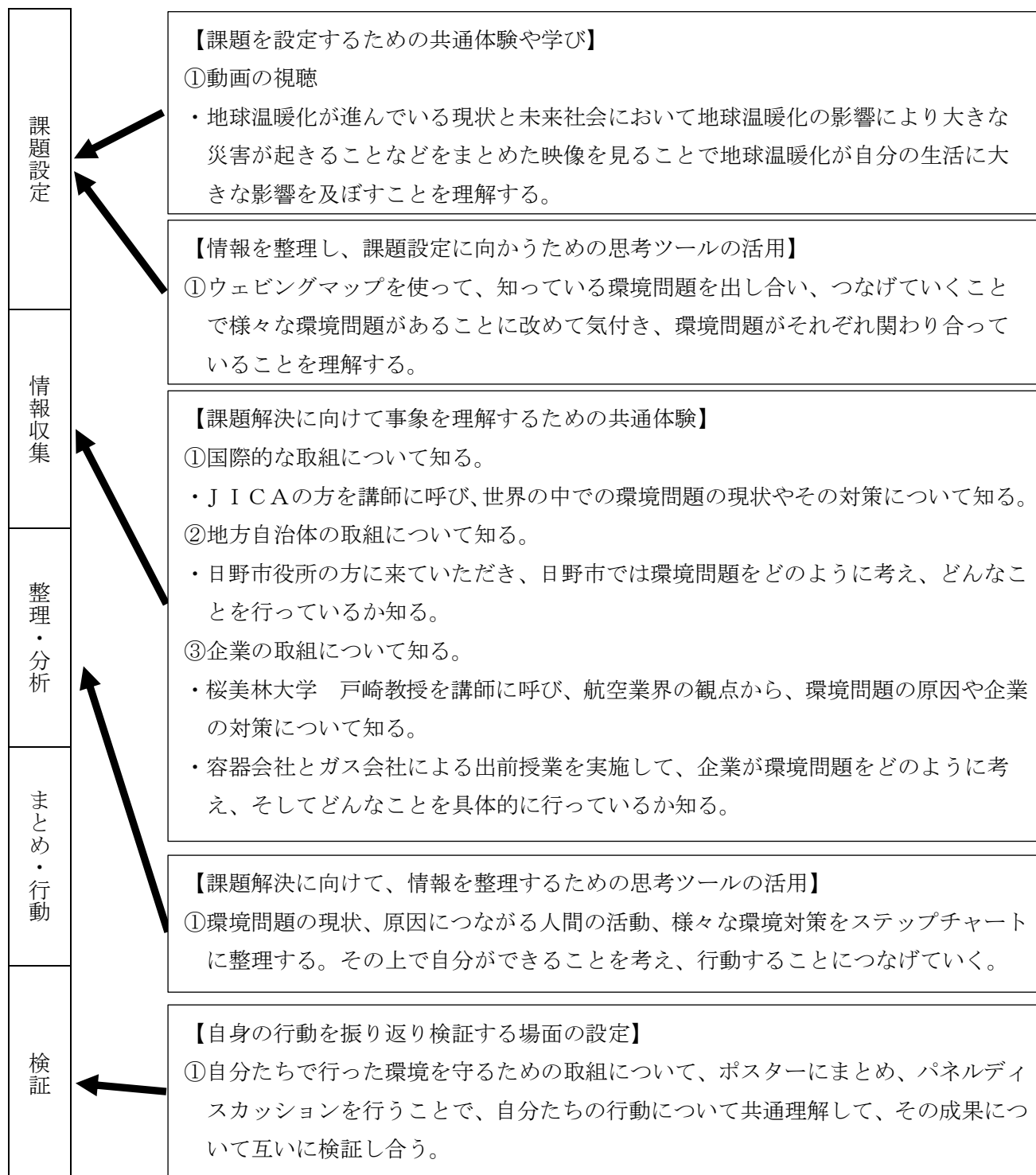
本学級の児童は、5年生になったことを機に、高学年としてこれまでより広い視点をもって生活していこうとする意欲が高まっている。これまで自分本位だった考え方の児童にも、少しずつ変化が見えてきている。また、委員会活動が始まったことで、より『学校全体のこと』を考えて行動しようとする姿勢や意欲が見られる。そのため、7月初旬に行った SDG s についての学習でも、日本のことや世界のことを考えたいという思いをもつ児童が多かった。昨年度も学習した内容があったが、より発展させて考えようとしている様子であった。また、世界の問題を『自分の身近に置き換えるとどうなるか』『自分たちが大人になった時にどうなるか』など、様々な視点で物事を考えられるようになってきている。

しかし、問題意識はあるものの環境問題についての知識はあまりなく、本単元の導入で今知っている環境問題について聞いた際に、「わからない」「知らない」と答える児童も多くいた。また、多少の知識はあっても、具体的な世界の現状や環境問題の原因などはほとんどの児童が知らなかった。更に、解決するために具体的にどのようなことをしていけばよいのか、世界の問題のために自分たちにできることは何か、などということにはまだ考えが至っていない様子であった。この学習では、SDG s を生かしながら問題解決型授業を進め、児童自身が自分の力で考えながら問題を解決し、行動化にまでつなげていけるように進めていきたい。

11 研究主題に迫るための手だて

(1) 課題を設定するための共通体験の充実

(2) 情報を整理・分析し、課題解決に向かうための思考ツールの活用



12 単元の指導・評価計画

	時	ねらい	○主な学習内容・学習活動	◇評価規準（評価方法）
課題設定	1	・環境の実態を知り、問題意識をもつことができる。	○共通体験として地球温暖化のVTRを視聴して、世界の中で深刻な問題になっている環境問題への意識を高める。 ○地球温暖化が進んでいることを知る。 ○どんな環境問題があるか、ウェビングマップを用いて意見を出し合い、たくさんの環境問題が起きていることや環境問題がつながっていることを理解する。	◇世界には様々な環境問題があることを理解している。【知のア】 (発言・ワークシート) ◇思考ツール「ウェビングマップ」を用いて自分で課題を設定している。 【思のア】 (ワークシート)
	2	・環境問題について調べたいことを決めて、学習計画を立てることができる。	○自分の課題を決めて、学習計画を立てる。	◇学習の見通しをもちながら自分なりに学習計画を立てている。【思のイ】 (発言・ワークシート)
環境問題について調べよう				
情報収集	3 4	・環境問題について調べることができる。	○本や資料、インタビューを活用し、現在の状況と問題点、原因について調べる。	◇環境問題について、手段を選択しながら情報を収集している。【知のイ】 (観察・ワークシート)
整理・分析	5 6	・環境問題について調べたことをまとめることができる。	○自分で決めた環境問題の現状、原因、感想をポスターにまとめる。	◇集めた情報を考えて整理しながらポスターにまとめる。【思のエ】 (観察・作品)

まとめ・行動	7	調べたことを友達に分かりやすく伝えることができる。	○調べた内容が違うメンバーでグループをつくり、調べたことを発表し合う。 ○ポスターをデータ化しタブレットを使って他グループの友達のポスターも見られるようにすることで、クラスの中で上がった環境問題の現状と原因について出来る限り理解できるようにする。	◇調べたことを分かりやすく友達に伝える。友達の発表を聞いて、調べたこと以外の環境問題について考える。【学のお】 (観察・ワークシート)
	8 本時	・環境問題について整理し、現状と原因を理解する。	○各自がどのような環境問題について調べたか確認し、環境問題の現状と原因を分類整理することで、解決策を考えることにつなげていく。	◇環境問題の原因は人間の生活によるものだということを理解し、自分たちが解決していかななくてはならないことに気付いている。【知のエ】 (発言・ワークシート)
課題設定	9	・これまで調べてきたことをもとに、新たな課題を設定する。	○1学期の学習を想起し、解決策を考えるための学習計画を立てる。	◇自分で課題を設定し、探究活動に進んで取り組もうとしている。【学のア】 (発言・ワークシート)
環境を守るための取組について考えよう				
情報収集	10	・世界の中で行われている環境を守るための取組について理解することができる。	○JICAの方から話をしてもらいそれぞれの国の環境を守るための取組について知る。	◇自分で調べたことと関連させながら話を聞き、理解を深めたり、新しいことに気付いたりしている。【思のウ】 (観察・ワークシート)
	11	・日野市で行われている環境を守るための取組について理解することができる。	○日野市環境保全課の方から話をしてもらい日野市の環境問題を守るための取組について知る。	◇自分で調べたことと関連させながら話を聞き、理解を深めたり、新しいことに気付いたりしている。【思のウ】 (観察・ワークシート)

	12 13 14	・企業で行われている環境を守るための取組について理解することができる。	○桜美林大学・戸崎先生や企業の方から話をしてもらい企業では環境を守るためにどんな取組をしているか知る。 ・航空会社 ・容器会社 ・ガス会社	◇自分で調べたことと関連させながら話を聞き、理解を深めたり、新しいことに気付いたりしている。【思のウ】 (観察・ワークシート)
整理・分析	15	・これまでの学習を通して環境を守るための取組について学んだことを話し合いながらまとめるとともに自分で取り組みたいことを考えることができる。	○これまでの学習で学んだことを話し合いながらまとめていく。	◇環境問題を解決するために、様々な機関が取り組んでいることを理解する。【知のウ】 (発言・ワークシート) ◇自分と違う意見や考えの良さを生かしながら、協働して学び合っている。【学のエ】 (発言・ワークシート)
情報収集	16	・資料（地球教室）を使って環境への取組について調べ、自分で取り組みたいことを考えることができる。	○問題を解決するために自分がやりたい行動を決める。	◇進んで調査活動に取り組んでいる。【学のウ】 (観察・ワークシート)
課題設定	17	・環境を守るためにどんなことができるか考えることができる。	○同じテーマのグループでこれまでの学習を振り返りながらステップチャートを使って環境問題の現状、原因（原因につながる人間の活動）、対策、自分たちにできること、の順番で考え、整理していく。	◇思考ツール「ステップチャート」を活用して、自分たちでできることを考えている。【思のオ】 (観察・ワークシート)
	18	・自分たちの行動計画を立てることができる。	○グループで、自分たちで実現可能かどうかという点から自分たちで、できることを整理して、行動計画を立てる。	◇自分にできることかどうか整理し、学習計画を立てようとしている。【学のイ】 (観察・ワークシート)

わたしたちの環境を守るために行動しよう

まとめ・行動	19 20	・行動計画に沿って準備や実践を行うことができる。	○自分で立てた計画に基づいて、環境を守るための行動を行う。	◇主体的に話し合いに参加し、問題の解決策を考えている。【学のキ】 (観察・ワークシート) ◇自分の課題を解決するために、進んで行動している。【学のク】 (観察・ワークシート)
まとめ・表現	21 22	・環境問題について考えてきたこと、行動したこと、どんな成果がでたかまとめることができる。	○自分たちでどんな行動をしたか、ポスターなどにまとめる。	◇環境問題について、要点をまとめて分かりやすく表現している。【思の力】 (作品) ◇友達の意見を取り入れながら、自分の考えをまとめている。【学の力】 (観察・作品)
検証	23	・これまでの活動を通してまとめたことを報告し、討論することを通して、「わたしたちの環境を守ること」について視野を広げ、改めて自分が今できることを考えることができる。	○前時にまとめたポスターを基に報告会を行う。	◇主体的に話し合いに参加し、問題の解決策を考えている。【思のキ】 (観察・ワークシート)

13 本時の指導（8時/23 時間）

（1） 本時の目標

- ・環境問題について整理する活動を通して現状を理解し、原因について考え、問題を解決したいという思いを抱けるようにする。

（2） 本時の展開

時	○主な学習内容 ・予想される児童の反応	◆指導上の留意点、配慮事項 ◇評価規準（評価方法）
導入	○これまでの学習を振り返る。 ○本時のめあてを確認する。	◆これまでの学習を、掲示物などを使って振り返る。
	環境問題について調べたことをまとめよう。	
展開	○前時の報告会で友達の発表を思い出し、どのような環境問題があったか出し合う。 ・地球温暖化 ・ごみ問題 ・砂漠化 ・海洋汚染 ・オゾン層破壊 ・森林破壊 ・生態系破壊 ・水質汚染 ・酸性雨 ○報告会で知ったことを入れながらウェビングマップを作成する。 ○全体で共有する。 ○環境問題の現状と原因を整理し、気が付いたことを書いて発表する。 ・地球温暖化は、僕たちが石油を使うことで進んでいく。 ・私たちが紙を無駄にすることで、たくさんの森林が失われている。 ・環境問題は人間に害があると思っていたが、原因を作っているのは人間だった。 ○地球上には、たくさんの環境問題があることや、その原因が人間によるものだということをまとめる。	◆黒板にそれぞれの環境問題の写真を提示しながら意見を集約する。 ◆前の時間に友達が発表していたことをもとに、環境問題の現状と原因を入れて作成させる。 ◆児童の意見をもとに黒板にウェビングマップを作成していきながら、環境問題の現状と原因を整理していく。 ◇世界にはたくさんの環境問題があり、その原因が人間の生活によるものだというを理解し、自分たちが解決していかなければならないことに気付いている。（発言・ワークシート） ◆第1時で作成したウェビングマップと本時で作成したものを比較し、学習を通して多くの環境問題について知ることができたことに気付かせる。 ◆自分たちの生活が環境問題の原因になっていること、自分たちが行動することで世界を変えていけるということに触れ、2学期以降の学習につなげられるようにする。
まとめ	○学んだことについて意見を交換する。 ・自分たちの生活が環境に影響を与えていることが分かった。 ・どうすれば環境問題を解決していくことができるか考えていきたい。	◆今後の学習の見通しをもたせ、自分たちにできることはすぐにでも実行していくよう意欲を高める。

(3) 板書計画

